

(1) 事業の経緯

平成18年は全国的に児童生徒のいじめの問題や自殺など、痛ましい事件が多発した1年であった。これら子どもたちの心の問題は、現代社会の大きな課題であり全力で解決に向けて努力していかなければならない。本町においてもそれらは大きな課題であった。

平成18年12月、そのような状況の中で町内小学校児童による読書に関する話し合いの機会がもたれた。その中で家庭での読書、特に家族を含めた読書の重要性が話題となった。子どもたちからは「今、学校ではあさどく（朝読）をしているが、家庭に帰ると本を読む機会は少ない。家庭でも本を読めるようになりたい。」「私は家でも本を読むが、家族（父母兄弟）と一緒に読めると楽しい。みんなでたくさん話ができる。」などの発言があった。子どもたちの心を育む上で、読書の重要性、家族のコミュニケーションの重要性を再認識する契機となった。その後、平成19年1月に現町長が就任し、「読書による豊かな人づくり町づくり」を念頭においた実践がスタートすることになった。

平成19年2月、子どもたちの家庭での読書習慣を育み、親子のコミュニケーションを深めるため、家庭における読書活動の推進は極めて有効な方策のひとつの観点から、「うちどく（家読）」を町の教育活動の一環として位置づけることにした。平成19年度4月から町内小中学校に推進校を設定していくこととし、小学校1校、中学校1校の指定校を決定した。

平成19年4月、うちどく（家読）推進校（だいが小学校、大子西中学校）を決定し、各推進校で推進計画を策定し、実践をスタートさせた。予算額は1校当たり、500,000円とした。

平成19年5月、うちどく（家読）推進連絡会議を開催した。町内小学校8、中学校5校の担当者が出席し、町内全域の学校においても研究体制をとり、連携を図りながら「うちどく（家読）」を推進していくことを確認した。

平成19年6月、町を挙げて読書運動を推進するために、広く全国へ向けて「読書のまち」を宣言した。「保健センターでのブックスタート」「保育所や幼稚園での読み聞かせ」「小中学校でのあさどく（朝読）」「家庭でのうちどく（家読）」「地域をあげての読書環境の整備」を具体的施策に掲げ、乳幼児期から成人までを見通し、系統的継続的に、町全体で読書運動を推進していく機運を盛り上げた。

平成19年9月、これまでの町の読書推進活動の取組が認められ、文部科学省より「『読む・調べる』習慣の確立に向けた実践研究事業」の推進自治体として、全国10自治体の一つとして大子町が2か年の指定を受けた。さらに、平成19年10月には「大子町『子ども読書の街』推進委員会」を組織し、実践をスタートさせた。

このように、本町の読書推進活動は、時代の要請の中で、町内小学校児童による読書に関する話し合いを契機とし、町独自の「うちどく（家読）」を中心とした取組に文部科学省の事業である「『読む・調べる』習慣の確立に向けた実践研究事業」が加わった形で進められることとなった。これらの経過を受け、「大子町『子ども読書の街』推進委員会」を組織し、平成19・20年度の2か年にわたり取り組んできた実践内容をまとめたものが本報告書である。

2) 事業の主題

前ページのような経過をたどり、実践を行う中で、町独自の「うちどく(家読)」を中心とした取組は、文部科学省の事業である「『読む・調べる』習慣の確立に向けた実践研究事業」の中に位置づける形で事業が進められた。本事業における主題は以下のとおりである。

① 子どもたち(乳幼児、園児、児童、生徒)の読書習慣の確立

読書のよさを活かすためには、子どもたちに確かな読書習慣を確立させることが不可欠である。町内諸機関の連携をもとに、「ブックスタート」「読み聞かせ」「あさどく(朝読)」「うちどく(家読)」等の施策を年齢段階に応じて指導することにより、子どもたち(乳幼児、園児、児童・生徒)によりよい読書習慣を確立することをねらいとする。



【ブックスタート】

② 家庭や地域の読書に対する意識の高揚

①のねらいを達成するためには、家庭や地域の読書に対する意識を高揚することが不可欠である。町内諸機関の連携をもとに、「読み聞かせボランティアの育成」「『うちどく(家読)』の推進」「読書講演会の実施」等の施策を行うことにより、子どもたちにかかわる家庭や地域の読書に対する意識をより高めることをねらいとする。



【読み聞かせ】

③ 地域社会の読書環境の整備

①②のねらいを達成するためには、地域社会の読書環境を整備することが不可欠である。

「図書館司書の巡回による学校図書館の整備」、
「町図書館や公民館分館の図書整備」、学校図書館や地域ボランティア等のハード・ソフト両面の読書環境の整備をねらいとする。



【あさどく(朝読)】

④ 読書を基盤とした豊かな人づくり、町づくり

①②③を通して、「大子町『子ども読書の街』推進委員会」を中心とした取組を重ね、心豊かな人づくり、さらに、心豊かな人を育むことができる豊かな町づくりをねらいとする。

⑤ 「読書のまち」のよさの全国への発信

①②③④を通して培った「読書のまち」としてのよさを「町広報紙」「町ホームページ」により全国へ発信し、読書を通して心を豊かにすることの意義を広め、より豊かな国づくりに寄与することをねらいとする。



【うちどく(家読)】

(3) 事業の計画

年次	事業計画
平成19年度	<ol style="list-style-type: none"> 1 「うちどく(家読)」推進校の指定 2 「読書のまち」宣言の策定 3 大子町子ども読書の街推進委員会設置要綱を制定 4 大子町「子ども読書の街」推進委員会の設置 <ol style="list-style-type: none"> (1) 専門部会の設置 (2) 専門部会の計画立案 5 各学校、町図書館「プチ・ソフィア」、公民館分館等の図書購入と貸し出し体制の整備 6 幼児期の読書推進（保健センター、保育所（園）・幼稚園） <ol style="list-style-type: none"> (1) ブックスタート事業の推進（保健センター） (2) 読み聞かせの推進（保育所・幼稚園等） 7 児童生徒期の読書推進（小学校・中学校） <ol style="list-style-type: none"> (1) 「読み聞かせ」の推進 (2) 「あさどく（朝読）」の推進 (3) 「うちどく（家読）」の推進 8 読書に関する意識調査 <ol style="list-style-type: none"> (1) 各学校、幼稚園、保育所（園）によるアンケート調査 9 町内外への情報発信 <ol style="list-style-type: none"> (1) 町広報紙 (2) 町HP 10 「スローガン」「しおり」コンテストの実施 11 読書講演会の実施 12 視察研修の実施 13 「うちどく(家読)Q&A」の作成
平成20年度	<ol style="list-style-type: none"> 1 1年次の事業の継続発展 2 広報・宣伝活動の充実 3 読書講演会の実施 4 読書研修会の実施 <ol style="list-style-type: none"> (1) 読書へのアニメーション 5 大子町「子ども読書の日」の制定 6 読書に関わる小・中・高の児童・生徒の横断的な組織の設立 7 読書に関わる小・中・高のPTA組織の設立 8 「奥久慈大子まつり」への参加 9 図書館司書による学校図書館の巡回訪問 10 読み聞かせ講座の実施と読み聞かせボランティアの育成 11 実践研究事業の報告記録集の作成 12 平成21年度の事業計画の作成

(4) 事業の組織

① 事業推進体制の概要

太子町「子ども読書の街」推進委員会により、活動を推進する。教育委員会、学校等関係、社会教育関係、地域団体、民間団体の代表者、町関係の64名で構成する。推進委員会の中に、専門部会を設けて、細部の企画立案、広報宣伝、事業の実施、実践記録等、事業の細部にわたる推進体制を構築する。

② 太子町「子ども読書の街」推進委員会専門部会の概要

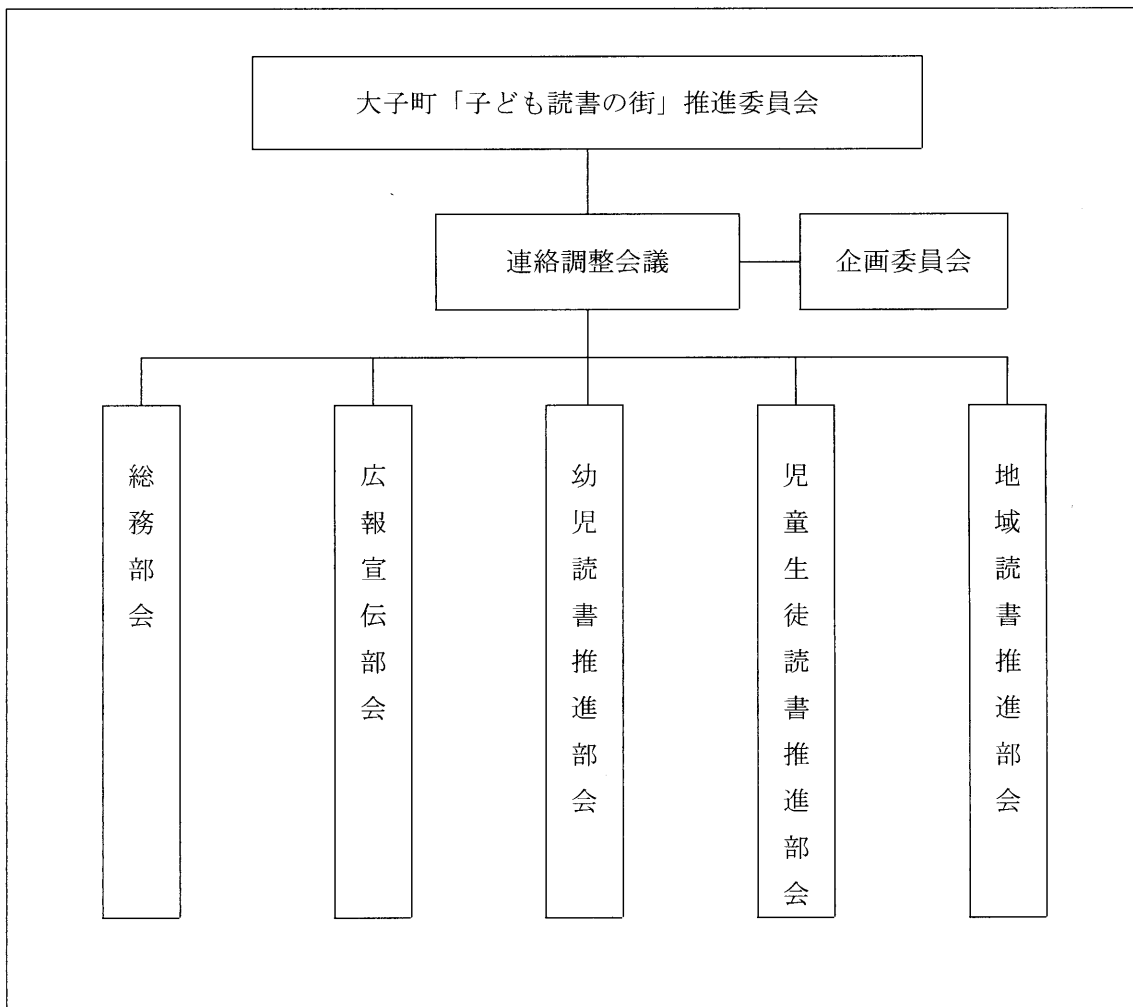
部 会 名	取 組 内 容	部 員 数
総務部会	1 読書集会・読書講演会に関すること 2 研修に関すること (1) 先進地の視察研修 (2) 読書活動に関する研修 3 予算執行に関すること 4 その他、他の部門に属さないこと (1) 読み聞かせ講座の実施 (2) 読書ボランティアの育成	9名 (事務局2名)
広報宣伝部会	1 町内への情報提供に関すること (1) 広報宣伝のちらし作成 (2) 町広報紙の広報活用 2 町外への情報発信に関すること (1) 町HPでの広報 (2) 町外からの意見収集 3 その他読書活動推進に関わること (1) しおりの作成 (2) 読書に関するコンテストの実施	9名 (事務局2名)
幼児読書推進部会	1 ブックスタートに関すること 2 読み聞かせに関すること 3 幼児の読書環境の整備に関すること 4 その他幼児の読書推進に関すること	12名 (事務局2名)
児童生徒 読書推進部会	1 「あさどく・うちどく」に関すること (1) 「うちどく(家読)」の推進 (2) 「あさどく(朝読)」の推進 2 児童生徒の読書環境の整備に関すること (1) 図書の購入 (2) 司書による図書館の整備及び活用指導 3 読書に関わる組織の構築と活動の推進 (1) 組織の設立と活動の充実 4 その他児童生徒の読書推進に関すること (1) アンケート調査の実施 (2) 読み聞かせの実施	19名 (事務局2名)

地域読書推進部会

- 1 地域の読書活動全般に関すること
 - (1) プチ・ソフィアの整備
 - (2) 読み聞かせ講座の実施
 - (3) 公民館分館の整備
 - (4) 町内事業所との連携
- 2 地域読書ボランティアの育成に関すること

14名
(事務局2名)

③ 大子町「子ども読書の街」推進委員会組織図



④ 調査研究会議（大子町「子ども読書の街」推進委員会）の構成員

所属・職名	人数	備考
町教育委員会委員	2名	教育委員会
小中学校、高等学校教員、校長会、研究会等	19名	学校等関係
分館長	8名	社会教育関係
小中学校、高等学校、PTAの役員	19名	地域団体
読書活動に携わる団体等	5名	民間団体
町関係部署の職員等	11名	町関係